

第4学年テーマ 「FLY HIGH」～子どもたちの主体的な活動をめざして

A：特別活動 「会社活動」～クラスで協力し合い、自分たちの手で楽しい学級をつくる～

教師の想い クラスの絆を深めるイベントを子どもたち自身の力で企画・実行してほしい。

子どもの想い 自分たちもみんなも楽しめる会社活動をしたい。

活動の流れ

- ① 会社活動の内容を説明する。
 約束… 1 自分の“得意”や“好き”を伸ばせる内容にする。
 2 みんなが楽しめる内容にする。
- ② 1回の会社活動を実施し、毎回振り返り、活動報告をする。
- ③ 会社でイベントを企画し、随時実施する。
- ④ 会社同士でコラボレーションをしてイベントを企画する。
- ⑤ クラスのイベントを企画する。



かたち 子どもたちの発案で各会社が考えた出し物を披露しあう“41子の祭り”を12月に実施した。

- ・自分たちで実行委員を立て、各会社と連携し、楽しいイベントを企画することができた。
- ・一人一人の主体性が育まれ、祭りを成功させたという達成感が得られた。

して

B：国語「ごんぎつね」～音読を通して物語の理解を深める～

教師の想い 叙述をもとに登場人物の心情を理解させたい。

- ・考えたことを文章で表現させたい。
- ・一人一人の感じ方のちがいに気づいてほしい。

子どもの想い 「ごんぎつね」という物語を音読で上手に表現したい。

学習の流れ

- ① 「ごん日記」を書く。ごんの視点に立って、その場面のあらすじをごんの気持ちを交えながら書く。
 ※ 書き方が決まっているので、書くのが苦手な子も上手に書くことができる。
- ② グループでごん日記をもとに、その場面の音読の仕方を話しあい練習する。
- ③ 音読の発表会を行い、物語の叙述と照らしあわせながら、その音読の仕方について意見を出しあう。
- ④ ①～③の流れを6つの場面ごとに繰り返し行う。



かたち 子どもたちの「音読を上手にやりたい」という想いを、登場人物の心情を十分に理解するための活動と音読

の練習時間を提供することで、叶えることができた。子どもたちの想いから始まった学習なので、最後まで集中して取り組むことができた。

4月	5月	6月	7月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年集会（学活） ・主体的な活動をめざし、学年目標「FLY HIGH」を設定する									
「白いぼうし」（国語） ・登場人物の心情をより深く理解するために場面ごとの劇化を行う	「1つの花」（国語） ・グループで話し合い、より場面に適切な表現方法で劇化する			B：「ごんぎつね」（国語）	「アップとルーズで伝えよう」（国語） ・自分の伝えたい想いを自分の言葉で伝える	D：「十年後のわたしへ」（国語）	「初雪の降る日」（国語） ・これまでの経験を生かして、学級全員で、よりよい音読をする		
「自分いろがみ」（図工） ・図工室の道具を自由に使い、自分の色紙をつくる	「木々をじっとみつめて」（図工） ・自分がイメージする木の世界観を既習事項を生かして表現する			「魔法の力をもつ時計」（図工） ・自分がイメージする魔法の世界観を既習事項を生かして表現する	「ほとと出てくる不思議な花」（図工） ・これまでの経験を生かし、版画を刷る紙にあらかじめ自分のイメージの色を塗り、表現する	「ゆめいろらんぶ」（図工） ・これまでの経験を生かし、想いを切り絵にして表現する			
「福祉について」（総合） ・福祉とは何かを考える	「障害のある方による講演」（総合） ・講演を聞き、体験をすることで、福祉についての理解を広げる				C：「パラリンピック調べ」（総合）	「校内に向けての福祉活動」（総合） ・学校を過ごしやすいするために、想いを全校児童に伝える			
「運動会ダンス」（体育） ・よりよい表現をめざして学年で取り組む			「音楽会に向けて」（音楽） ・編曲者の話を聞き、表現をめざす	「音楽会に向けての練習」（音楽） ・他学年や保護者に向けて歌を披露することで、あらかじめ自分たちの想いを確認する					

C：総合 福祉 「パラリンピック調べ」～梅小祭りでパラリンピックを企画しよう～

教師の想い 障害のある方が活躍するスポーツを知ってほしい。

子どもの想い 自分が調べたパラリンピックの種目を、自分たちの手で誰もが楽しめるスポーツイベントにしたい。

活動の流れ

- ① パラリンピックにどんな種目があるか知る。
- ② 自分が調べたい種目
 （競技のルール、選手、使われている道具）を図書室の本やインターネットで調べ、まとめる。
- ③ 調べ学習の発表会を行い、クラスの友だち、保護者の前で発表する。
- ④ 梅小祭りの企画を班で考え、プレゼンする。（4人で1種目を提案し、道具、1回の収容人数、低学年対応などを考え、教室でできるように説明する）
- ⑤ 梅小祭りに企画する3種目を決める。
- ⑥ 自分の担当したい種目を決め、準備を進める。
- ⑦ 梅小祭り 当日



かたち 梅小祭りでは、ブラインドサッカー、ボッチャ、車いす卓球をすることになった。自分たちが調べたパラリンピックを梅小祭りという機会で開催させることができてよかった。また、教室でできるように道具を工夫し、協力して梅小祭りを成功させ、達成感を味わえた。

D：国語「十年後のわたしへ」～未来の自分に手紙を書こう～

教師の想い 自分の想いを自分の言葉で表現させたい。節目の時期に将来を考えるきっかけにしてほしい。今まで様々な人にお世話になってきたことに気づいてほしい。

子どもの想い 未来の自分へ素敵な手紙を書きたい。

学習の流れ

- ① 10歳という年齢が、20歳（成人）までの半分であることや、「大人になる」ということについて話しあい、考えを深める。
- ② これまでの10年間でどんなことが心に残っているか振り返る。また、10年後どんな自分になっているのかを想像し、これからの自分への願いを考え、ノートに書き出す。
- ③ ②の内容をもとに、作文を書く。書いた手紙を読み返し、推敲する。最後に、自分が書ける中で一番丁寧な字で便箋に綴り、オリジナルの手づくり封筒の中に入れる。
- ④ 自分たちの節目をお祝いするため、また今までお世話になった人へ感謝の気持ちを伝えるための「2分の1成人式」を計画、実行する。その中で手紙を読み、披露する。



かたち 未来の自分に向けて、想いがこもったオリジナルの手紙を書くことができた。

- ・10年間を振り返り、自分自身と向きあう中で、自らの成長を実感することができた。
- ・自分たちで考え、披露する場を計画し、最後まで成し遂げることができた。